

製品名: NMUR2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14767**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	NMUR2
別名	Neuromedin-U receptor 2 (NMU-R2) (G-protein coupled receptor FM-4) (G-protein coupled receptor TGR-1)
遺伝子 ID	56923.0
SwissProt ID	Q9GZQ4
免疫原	ヒト NMUR2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1-50

背景

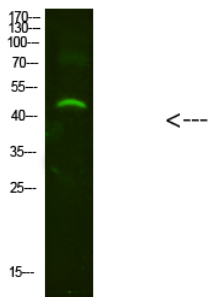
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、腸管および中枢

神経系に広く分布する神経ペプチドであるニューロメジン U の受容体です。この受容体は、摂食量と体重の調節において重要な役割を果たしています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意：Met-1 と Met-4 のどちらがイニシエーターであるかは不明です。、機能：ニューロメジン U およびニューロメジン S 神経ペプチドの受容体。、類似性：G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、組織特異性：主に中枢神経系、特に延髄、橋網様体、脊髄、視床で発現しています。精巢では高濃度ですが、消化管、泌尿生殖管、肝臓、膵臓、副腎、甲状腺、肺、気管、脾臓、胸腺など、さまざまな末梢組織では低濃度で存在します。

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



NMUR2 ウサギポリクローナル抗体 (1:2000 希釈) を用いたマウス脳細胞のウェスタンブロット解析 (4°C、一晚)。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈 25°C、1 時間)